



温州市英才学校の高校生と画面を通じて交流した

# 友好都市の温州と交流

## 桜坂高2年生 両国の文化伝え合おう

石巻市立桜坂高校（熊谷聡也校長）の2年3組30人は16日、同市の友好都市・中国温州市の英才学校で日本語を学ぶ高校3年生とオンライン交流を行った。両国の文化や風土、学校生活について発表し合い、質疑応答で相互理解を深めた。

両市は昭和59年に友好都市を結んだ。今回は温州市側から英才学校と桜坂高の学校間交流事業実施の打診があり、ウエブ会議サービスを使って両校が交流

した。

英才学校の生徒は日本語を用いて温州の文化や名産、名勝、著名人などをスライドで紹介。桜坂高の生徒は東日本大震災で被災し、復興の道を歩んだ石巻について語りつつ、学校行事や部活動の様子も写真で紹介した。

生徒たちは好きな食べ物や好きな歌手などを質問し合い、英才学校の生徒は「温州では日本料理が人気」「日本のアイドルでは嵐が好き」などと回答。桜

坂の女子生徒が手でハートマークを作り友好の気持ちを示すと、英才学校の男子生徒は「とてもかわいい」と照れ笑い。桜坂の生徒も「謝謝（中国語でありがどうの意）」と応えるなど和やかな交流が進んだ。

桜坂高生徒会副会長の佐々木静花さんは「温州の歴史的建造物や自然など貴重な写真を見ることができて勉強になった。最初は少し緊張したが、良い交流会だった。次はオンラインでなく、リアルで交流がしたい」と話していた。【山口絃史】